



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年3月11日

上場会社名 ANYCOLOR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5032 URL <https://anycolor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田角 陸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 釣井 慎也 TEL 03(4335)4850
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の業績（2025年5月1日～2026年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	42,020	45.4	16,909	54.2	16,925	54.9	11,793	55.5
2025年4月期第3四半期	28,904	24.2	10,965	21.3	10,930	21.2	7,582	20.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	193.03	192.31
2025年4月期第3四半期	122.58	121.14

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第3四半期	36,387	28,822	79.2
2025年4月期	29,143	21,968	75.4

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 28,822百万円 2025年4月期 21,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	32.50	—	32.50	65.00
2026年4月期	—	35.00	—		
2026年4月期（予想）				40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年4月期の業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,730	27.6	19,824	21.8	19,840	22.4	14,015	21.8	229.99
	～55,630	～29.7	～20,359	～25.1	～20,375	～25.7	～14,387	～25.0	～236.09

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- 2026年4月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2026年4月期(予想)の1株当たり当期純利益は、2026年4月期第3四半期末の発行済株式数（除く自己株式）で除して算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期3Q	61,121,759株	2025年4月期	61,067,519株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	183,806株	2025年4月期	6株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年4月期3Q	61,096,728株	2025年4月期3Q	61,854,101株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、前事業年度末より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前第3四半期累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「魔法のような、新体験を。」というコーポレート・ミッションのもと、新しいエンターテインメントを提供する会社として、VTuberグループ「にじさんじ」の運営を主軸としたエンターテインメント領域での事業展開を行っております。当社のVTuberビジネスは、主にYouTubeにおけるライブ配信動画を中心とした動画配信活動によるライブストリーミング領域、当社がIPを有するVTuberのオリジナルグッズや音声を録音したデジタル商品の販売を行うコマース領域、当社所属のVTuberが出演する、音楽をはじめとしたイベントを主催するイベント領域、企業からのタイアップ広告、IPライセンス、メディア出演等の案件であるプロモーション領域の4領域で構成されております。

VTuberグループ「にじさんじ」及び「NIJISANJI EN」に所属するVTuber数は172人（前年同期比7名増加）となりました。また、「にじさんじオフィシャルストア」や「にじさんじFAN CLUB」等の利用の際に必要となるIDであるANYCOLOR IDは1,944千ID（前年同期比25.5%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高42,020百万円（前年同四半期比45.4%増）、営業利益16,909百万円（前年同四半期比54.2%増）、経常利益16,925百万円（前年同四半期比54.9%増）、四半期純利益11,793百万円（前年同四半期比55.5%増）となりました。

なお、当社は動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は32,739百万円となり、前事業年度末に比べ7,117百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が5,156百万円及び商品が1,611百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は3,647百万円となり、前事業年度末に比べ126百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が141百万円減少した一方で、投資その他の資産が293百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、36,387百万円となり、前事業年度末に比べ7,243百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は7,564百万円となり、前事業年度末に比べ389百万円増加いたしました。これは主に買掛金が337百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、7,564百万円となり、前事業年度末に比べ389百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は28,822百万円となり、前事業年度末に比べ6,854百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益11,793百万円、剰余金の配当4,123百万円及び自己株式の取得840百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期会計期間において、コマースおよびイベントを中心に売上高は当初計画を上回って着地し、当第2四半期会計期間においても計画通りの進捗となっております。当第3四半期会計期間においても、コマースを中心としてVTuberユニットの周年施策、季節性施策、ライブ関連グッズなどの大型施策により強い需要があり、当第4四半期会計期間の見込みも考慮すると売上高は当初計画を上振れて推移することが見込まれております。一方で、コスト面においては、当第3四半期会計期間に計上した棚卸資産の処分決定に伴う費用計上および当第4四半期会計期間に予定されている棚卸資産の評価損の計上などにより、前回計画での想定を上回る費用計上となる見込みとなり、利益面では前回予想を下回る見込みとなっております。

以上のことを総合的に勘案すると、通期の売上高が2025年12月10日の公表数値を上回る見込みとなる一方で、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益については当該公表数値を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正することといたしました。

なお、通期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

詳細につきましては、本日（2026年3月11日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,818	20,975
売掛金	5,922	6,132
商品	3,608	5,220
その他	272	410
流動資産合計	25,622	32,739
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,567	1,567
減価償却累計額	△117	△188
建物（純額）	1,449	1,379
工具、器具及び備品	1,238	1,459
減価償却累計額	△411	△640
工具、器具及び備品（純額）	826	818
建設仮勘定	65	2
有形固定資産合計	2,341	2,200
無形固定資産	172	146
投資その他の資産		
出資金	66	-
敷金	549	560
その他	391	740
投資その他の資産合計	1,007	1,301
固定資産合計	3,521	3,647
資産合計	29,143	36,387
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,482	2,820
1年内返済予定の長期借入金	45	-
未払法人税等	3,115	3,212
その他	1,531	1,531
流動負債合計	7,175	7,564
負債合計	7,175	7,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	449	462
資本剰余金	2,821	2,834
利益剰余金	18,696	26,366
自己株式	△0	△840
株主資本合計	21,968	28,822
純資産合計	21,968	28,822
負債純資産合計	29,143	36,387

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
売上高	28,904	42,020
売上原価	15,391	22,009
売上総利益	13,513	20,010
販売費及び一般管理費	2,548	3,101
営業利益	10,965	16,909
営業外収益		
受取利息	0	14
為替差益	2	-
補助金収入	1	0
受取補償金	-	19
その他	0	5
営業外収益合計	5	40
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	-	17
支払手数料	11	6
固定資産除却損	25	-
その他	3	0
営業外費用合計	41	24
経常利益	10,930	16,925
税引前四半期純利益	10,930	16,925
法人税、住民税及び事業税	3,309	5,470
法人税等調整額	38	△338
法人税等合計	3,347	5,132
四半期純利益	7,582	11,793

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

当社は、動画コンテンツ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

当社は、2024年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,712,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が7,499百万円増加いたしました。また、2024年7月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月24日付で、自己株式3,487,271株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ10,000百万円減少し、当第3四半期会計期間末において利益剰余金が14,768百万円、自己株式が0百万円となっております。

当第3四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

当社は、2026年1月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式183,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が840百万円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が840百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2025年5月1日 至2026年1月31日)
減価償却費	147百万円	348百万円